

■東欧：寒波の影響で電力需要が急増、電力融通に混乱も

2017 年 1 月 10 日付の専門誌の報道によると、欧州各地を襲った記録的寒波の影響のため中東欧各国で電力需要が急増しており、1 月 9 日ブルガリアはルーマニアに電力供給の緊急要請をしたが、ルーマニアでも電力供給が逼迫しており要請に応えることができなかった。中東欧各国は先週より歴史的な寒波に見舞われ、1 月 6 日には寒波の影響でブルガリア国内では原子力発電所（出力 70.6 万 kW）が電力系統から離脱、770 の自治体で停電が発生、数十万の人々に影響を与えた。ルーマニアのエネルギー大臣によると、1 月 9 日、ブルガリアは過去 20 年で最大の電力需要となる 770 万 kW の電力需要に達し、同国はルーマニアに対して電力供給を要請したが、ルーマニアでも電力需要が逼迫しており要請に応えることができなかったとのことである。1 月 10 日のブルガリアの気温はマイナス 20℃、ルーマニアの最高気温はマイナス 10～15℃、最低気温はマイナス 29℃に達すると伝えられた。